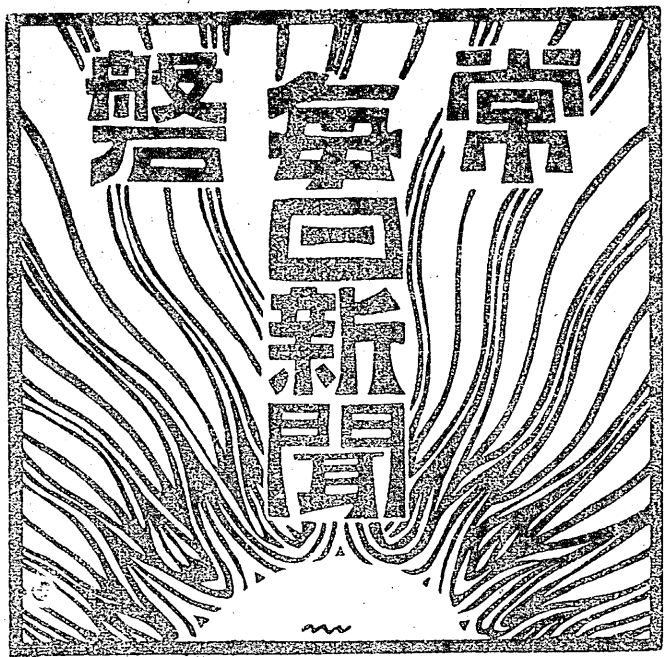


發行兼編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地 電話二二三十四番



定価 一月一元二角 三月三元五角 半年六元五角 一年十二元 郵費別 印刷所 一〇活版所

刊夕日二廿月四

常磐文藝 別後(短歌)

目とづればあまりにやさしかの君のみ手のぬくみはかなしかりけり

手帳より(俳句)

治まれる御代の餘徳や 花に酒 咲くも散るも及ぶもの

新川柳(さくら)

別々に花を見て来る 若葉が 襟垢が氣になる花の 咲く噂

開店 以前同様御愛顧を蒙り度伏而奉懇願候 處方藥品工業 調染業 劑料品貨 毒消園農

印刷神天 弊舗ノ萬言ヨリモ華客ノ一言ニアリ

評判第一

久保田パン

小役員募集 相當ニ優遇 致シマス希 望ノ方ハ御 通知ヲ乞フ

マル柴田書店 電話二二三十四番

壹萬箱大賣出

横濱日本製藥株式會社 平町特約店 土橋 小川屋商店

滋養パン

用トツケホ (錢五金)

り有に店貨雜店子菓の處る至

開業御披露

四月廿一日より 平町舊城跡(城山三の丸) 青沼醫院 醫學士青沼淡夫

眼科 平町紺屋町 吉田眼科醫院

享樂せよこの陽春を

兄弟かたき 笑はせながらも觀る者をして一種考へさせしめずにおかぬ社會諷刺劇

地上の叫び

映畫劇 加賀鳶丹藏 其他數番 帝國館 電話五五五

株式買中値

左記の値段は本日標準値に付御用の節は御問合願候

Table with columns for bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行) and their corresponding exchange rates (e.g., 五〇〇, 五〇〇).

丸登株式店

川添房二郎

寄書

余の戀愛論

即ち人格の力を借りて肉体と靈魂とを結びけ其處に一層高い錯合を作らうとするのである、つまり第一階段の當初に於て戀愛は其生活の要素である。肉の飽滿が動かすべからざる勢威を保つて居たか中頃の第二段に於ては、最も尊重されるあらゆる精神的素質、即ち美德純潔懇切智識等が著しく高調された、近代に於ては肉の快樂と精神的戀愛とは最早別々のものとして存在して居ない、愛

人の個性に存する人格が唯一の價値である様になつたつまり人格が戀愛思想の唯一至高の源泉となつたのである。戀愛なる情緒は以上の様な経路を辿つて、最も此れ以外に種々雑多な變化や傾向はあつたが、段々と統一されて近代に及んだ、其経過を見るに戀愛の觀念と性的方面の消息とは互に並行して間斷なく交渉を持つて居た、殊に其發生の當時は戀愛なる觀念は性慾の方面から壓迫されて、僅に其片影を止むるに過ぎなかつたのである、其當時の人間は假令自分の慕つて居る婦人を

崇拜したいと思つて居ても精神上的戀愛に満足出來ず更に直截な肉体を焦慮すると云ふのが常に變らぬ其本質であつた、それが段々と人智や道德の發達進歩につれて精神的方面が異常の發達を遂げ肉體の働動を戀愛觀念より驅逐し得ない迄も其最少部分の範圍に押込めて仕舞つたのである。然し乍ら戀愛は異性間に胚胎し互に連鎖に依つて維持を保證されるもので性慾が人間の本能性である以上之を戀愛より分離して別個獨立のものとする事は何れの時代でも實行不可能である云ふも過言ではない。

内郷村陥没問題

陳情書本日知事に

磐城炭礦との交渉頓末 關係地主十三名連印

石城郡内郷村大字白水字長
槻居住大越治七氏外十二名
の所有田畑約三町歩が磐城
炭礦の内郷坑掘進の爲龜裂
陥没を來し水田枯涸其他農
耕上一大支障を惹起し關係
會社と交渉を重ねたるも容
易に解決の曙光を見る能は
ず已むなく關係地主一同縣
へ陳情の計劃なる旨既記の
如くであるが本二十二日附
愈々左記の通り香坂知事宛
「拙者共々磐城炭礦株式會
社間の耕地々表龜裂及陥没
被害に對する、損害賠償の
交渉案件に關しての陳情」

星一氏の政見發表

選舉大學終了後引續き 各所に論陣を張る

星一氏の選舉大學講習會は
至る處聴講生に多大の感動
を興へ頗る効果を奏しつつ
あるが更らに講習會以外に
同氏の政見發表演説會を開
く事に決定し東都よりも應
援辯士多數來郡の筈であつ
て日割は左の如くである
(廿四日午後一時から)江
名町軌道會社車庫内(廿
五日午後一時から)平町
聚樂館(廿六日午前九時
から)澤渡村中寺(其他
日割未定)

客を吸集

松ヶ岡の櫻

松ヶ岡公園の櫻は散々雨に
惱ませられた観あつたが夫
れでも十九、廿、廿一の三日
間に互り平驛の呑吐した人
員は左記の如くで

| | | |
|-----|------|------|
| 十九日 | 三、八三 | 三、四〇 |
| 廿日 | 六、四五 | 五、四〇 |
| 廿一日 | 二、六六 | 二、五五 |

あるから三日間通じて約一
萬二千人を吸集した次第で
主として茨城縣方面からの

觀櫻團體が多かつた
比佐派は

腰辨當行脚

突撃戦を試む

比佐派にては候補者の地元
たる湯本後援會が二十三名
連日わらち腰辨當で各村落
に行脚の活動を繼續し一方

平町の旅館に

町村長が泊らない 多くは四倉に止宿

客を冷遇する結果か?

平町の旅館は大小三十數軒
あるに拘らず今回の本縣町
村長會出席者約四百名中知
事をはじめ約三割は宿を四
倉町に變更し信夫郡の全員
は四倉町に決定した程であ
るが是等の原因は總て平町
の宿屋等は客に對して不誠
意で客を冷遇した結果でな
からうか?果してそうなれ
ば當業者の自覺が必要

霞ヶ浦見學

平在郷軍人が

平町在郷軍人分會にては廿
五日午前九時平驛前に集合

カテイラン

ネルやセルの 仕立方(一)

第一に注意することは地の
しで、それを誤ると縫ひ狂
ひます。縫方で一番大切な
ことは、コテを充分に使ふ
ことです。手織物はしつけ
仕立方ではどうしても手際

本部は言論一點張りで各方
面に突撃戦を試みて居る

長橋觀櫻盛況 平町
長橋青年分團有志の觀櫻會
は昨報の如く尼子亭にて開
會分團長遠藤藤藏氏の挨拶
來賓總代小野和七氏の謝辭
あり宴に移り歡を盡して頗
る盛況を呈した

不平受付

炭礦に潜伏

香川縣高松市外海澤町生れ
木村一夫(七)は神戸市七日
町柳澤自轉車店にて働いて
居たが今月初旬頃同僚益田
某(一)と些細の事から口論
し短刀を以つて殺害逃走し
たが石城地方の炭礦に潜伏
して居る形跡ありとて神戸
署からの照會に依り平署に
ては嚴探中

再び舞子を

天幕講習の 下檢分か?

香坂知事は本日午前七時杉
原四倉町長の案内にて磐城
舞子の稱ある仁井田浦を視
察したが前回視察の當時一
部に洩らした夏季天幕講習
開催の下檢分であるらしい

實業教育視察 文部
省實業補習教育主事千葉敬
止氏は左記日割に依り本郡

よくゆきませんそれで脇や
奥身附の縫込を折伏せる場
合必らずまづコテで折癖を
つけておいてからくけます
袖にや裾くけは、さきにコ
テをかける場合よく出来
ませんから、これはくけ上
げてからコテで仕上げをし
ます、次に注意するのは
縫糸です。誰でも經驗する
やうにネルやセルの着物は

常磐片々

町村長の多くが平の宿屋は
不親切だからと四倉に泊る
實は山の奥から飛び出して
海が戀しい爲めだらうと、
どうだか

白銀野球團

平町字白銀町有志は此程野
球團を組織し銀星(シルバ
ースター)俱樂部と名づけ
たが役員は

(團長)加藤丈夫(幹事)星
龜勝、山本正恵、柏木勝利
久栖磐城(會計)加藤正保

落成式

平署演武場の

平署の演武場は警察署附屬
の道場としては縣下類なき
建築で去三月以來工事中で

青沼醫院

あつたが近く愈々竣工する
らしく此の落成式には本縣
武道大會を催す筈で期日は
衆議院議員選舉後の五月廿
日頃の由

磐城丸修理

多少遅れた
千葉縣水産試験所からの入

新株前場引値

東株前場引値(本電)
先限 九三、三〇〇
九三、八〇〇

電に依れば伊豆七島の中三
宅島の南方御倉島五津の漁
區に於いて中盤初漁御附良
好にして四百尾若しくは七
百尾を釣獲した湖流は東で
普通水色良好で今後好況の
見込であるを而して本縣水
産試験場磐城丸は豫て三重
縣大湊町市川造船所に於い
て修理中であつたが仙臺か
らの入電に依れば豫定の十
二日より多少遅延し十六日
終了十七日試運轉をなすと
同時に各漁場觀測のため活
躍しつつあると